

食品の安全に関する基本方針及び推進プランの全体概要

骨子案（整理済）

素案で整理

基本方針			推進プラン						
あるべき姿	領域	目指す姿 (10年後)	取組の柱	目指す姿 (5年後)	数値目標	取組の方向	基本施策	主な取組	活動目標
みんなで創る、安全な食品を安心して食べることができる社会	安全な食品の提供	生産者・事業者・消費者及び行政が相互に協働して食品の安全性を確保するためのリスク管理の仕組みが構築されています。	衛生管理	生産者・事業者の生産工程管理・自主衛生管理が定着し、食中毒リスクの少ない食品が提供できるようになってきており、県内における大規模な集団食中毒の発生が抑えられています。	○有症者50人以上の 集団食中毒発件数（過去5年平均） 現状値（H27-R1平均）：2.6件 ⇒目標（R3-R7平均）：2.0件以下 ○講習会受講者に占める HACCPを理解している者の割合 現状値：— ⇒目標（R7）：70%以上	生産段階での安全確保	① 安全な農産物の生産	（行政）農産物の生産・流通システムの工程管理の推進 （生産者）農産物の安全性の確保	OGAP認証経営体数
							② 安全な畜産物の生産	（行政）安全な畜産物の提供に向けた検査・指導等 （生産者）家畜伝染病の発生予防	○牛飼育農家の立入検査実施率 ○鳥インフルエンザ発症状況調査数
							③ 安全な水産物の生産	（行政）水産物の生産段階における衛生管理等の普及啓発及び貝類安全対策 （生産者）安全で高品質なかきの提供	○貝毒行政検査検体数 ○かき出荷衛生対策講習会開催数
							④ 自主衛生管理の推進	（行政）HACCP定着のための支援 広島県食品自主衛生管理認証制度の普及 （生産者）HACCPの定着 （事業者）HACCPの定着	○HACCP講習会の開催数 ○広島県食品自主衛生管理認証新規件数
							⑤ 監視指導体制の強化	（行政）監視指導の実施 HACCP定着の確認	○食品衛生監視指導実施率
							⑥ 食品検査体制の充実	（行政）規格基準 遺伝子組換え食品 アレルギーマテリアル等を含む食品等の検査の実施	○食品の監視検査検体数
							⑦ 輸入食品の安全対策の推進	（行政）輸入食品の監視指導の充実強化 （事業者）輸入食品の安全確保	○輸入食品の監視検査検体数
	安心感の醸成	流通している食品の正確な情報を簡単に入手できる仕組みが整備されており、安全な食品を安心して食べることができます。	危機管理	生産者・事業者が自社製品において違反又は健康被害の可能性がある旨を探知した場合には、速やかな回収を行い、早期に製品の回収に着手できるようになってきています。	○回収着手報告書提出までの所要日数 現状値：— ⇒目標（R7）：1日以内	危機管理事業の早期収束	⑧ 危機管理体制の整備	（行政）危機管理マニュアル作成等の支援 （生産者）GAPの実践 （事業者）お客様相談窓口の設置と危機管理体制の構築	○危機管理マニュアル整備率
							⑨ 危機管理対応の徹底	（行政）食品衛生申請等システムによる回収報告の推進 （生産者）迅速な自主回収への着手 （事業者）迅速な自主回収への着手	○回収報告の食品衛生申請等システム活用率
			食品表示	事業者が食品表示法に基づく表示制度を理解し、不適切な食品表示が減少してきており、また、消費者が食品表示を確認する機会が増加し、商品の情報を正確に把握できるようになってきています。	○表示違反（不良）による回収件数 （過去3年平均） 現状値（H29-R1平均）：18件 ⇒目標（R5-R7平均）：8件以下	食品表示の正確な情報伝達	（行政）食品表示制度の周知 （生産者）生産履歴記載の推進 （事業者）食品表示の自主点検の強化	○食品表示講習会の開催数 ○適正表示推進者の育成数	
						食品表示の信頼性の確保	（行政）食品表示適正化推進月間の実施	○食品表示適正化推進月間の一斉監視施設数	
						⑩ 適正な食品表示の推進	（行政）消費者への食品表示制度の広報 （事業者）消費者への相談対応 （消費者）店頭での表示確認	○食品表示ウォッチャーによる調査件数	
						⑪ 食品表示に対する監視指導の充実	（行政）電子媒体等による情報提供の実施 新型コロナウイルス感染症の予防対策の推進 （生産者）産地からの情報発信の充実 （事業者）消費者への情報提供の充実 （消費者）積極的な情報収集の推進	○電子媒体等を活用した情報発信の実施回数 ○飲食店等の「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店」実施件数 ○飲食店等の「積極ガード店」実施件数	
						⑫ 食品表示活用の啓発	（行政）食品のリスクに対する総合的な理解の推進 （生産者）食品のリスクに対する総合的な理解 （事業者）食品のリスクに対する総合的な理解 （消費者）食品のリスクに対する総合的な理解	○意見交換会の開催数	
						⑬ 食品の安全性に関する情報発信の充実	（行政）食品衛生に関する知識の普及啓発の強化 （消費者）食品衛生に関する知識の習得	○消費者を対象とした講習会等の開催数 ○消費者向けの食品安全情報の提供回数	
リスクコミュニケーション	行政が中心となって食の安全に関するリスクコミュニケーションを推進し、生産者・事業者、消費者との相互理解を深める場が提供できており、流通する食品に対する消費者の不安意識が軽減できるようになってきています。	○食品に関する苦情のうち、事業者等との対話不足を起因とする苦情の割合 現状値：— ⇒目標（R7）：10%以下	リスクコミュニケーションの推進	（行政）食品のリスクに対する総合的な理解の推進 （生産者）食品のリスクに対する総合的な理解 （事業者）食品のリスクに対する総合的な理解 （消費者）食品のリスクに対する総合的な理解	○意見交換会の開催数				
			⑭ 生産者・事業者・消費者及び行政の相互理解の促進	（行政）食品衛生に関する知識の普及啓発の強化 （消費者）食品衛生に関する知識の習得	○消費者を対象とした講習会等の開催数 ○消費者向けの食品安全情報の提供回数				
⑮ 消費者への正しい知識の普及	（行政）食品衛生に関する知識の普及啓発の強化 （消費者）食品衛生に関する知識の習得	○消費者を対象とした講習会等の開催数 ○消費者向けの食品安全情報の提供回数							